

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆全産業の経常利益19.7%増、7～9月法人企業統計 AI関連需要がけん引

・財務省が発表した7～9月期の法人企業統計によると、全産業(金融・保険業を除く)の経常利益は前年同期比19.7%増の27兆5385億円だった。4四半期連続のプラスとなった。人工知能(AI)関連の需要がけん引した。自動車などは米国による関税引き上げの影響が残る。全産業の経常利益は7～9月期としては過去最高となった。

◆25年度の実質成長率は0.9%、26年度は0.8% NEEDS予測

・日本経済新聞社の経済・金融データサービス「NEEDS」の日本経済モデルに、内閣府が11月17日に公表した2025年7～9月期の国内総生産(GDP)速報値を織り込んだ予測によると、25年度の実質成長率は0.9%、26年度は0.8%の見通し。日本経済は25年7～9月期に6四半期ぶりのマイナス成長となった。10～12月期もゼロ成長にとどまる見通し。

◆厚労省がハローワーク所長に大号令、介護施設2000カ所訪問 就職続々

・厚生労働省がこの秋、「集中的な充足対策」と銘打って人材難にあえぐ介護事業所の支援事業を展開。自治体や業界団体からの情報をもとに、人手不足への対応がとくに必要な全国の2091の事業所を洗い出し、544すべてのハローワーク所長に訪問を呼びかけ、「隠れた魅力」を求職者に直接訴え、就職につながった事例が次々生まれている。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆公取委、取適法(旧下請法)特定運送委託の解説動画を公開

・公正取引委員会(公取委)は「中小受託取引適正化法」(取適法、旧下請法)で新たに対象取引として追加された「特定運送委託」に関するYouTube動画を公開。「特定運送委託」の概要や荷主が守るべき規制の内容などについて、公取委の広報担当者と担当官が解説。併せて国土交通省と公取委の合同パトロールについて語っている。

◆国道照明、LED化率100%へ民間資金方式 大阪府内で導入第1号

・国土交通省は、直轄国道の道路照明をPFI(民間資金を活用した社会資本整備)方式で発光ダイオード(LED)化する初めての事業を大阪府内で実施する。事業者決定へ公募手続き中で、他地域でも取り組みの推進を図る。2024年度のLED化率48%を30年度に100%にする目標に向けペースアップを狙う。

◆銅価格の急騰、国内相場に波及 アルミやステンレスに代替加速も

・幅広い製品に使われる銅の国内価格が高騰している。国際価格が最高値圏で推移するところに外国為替市場の対ドルでの円安基調が重なり、国内指標は急上昇し最高値を付けた。伸銅品や電線の取引価格にも波及している。アルミニウムなどの他の金属による代替が進むとの声も大きくなってきた。

《 注目商品 》

■トクラス、新時代の水まわり「Noare(ノーレ)」

・浮遊感のあるデザインのフロートタイプや、椅子に座りゆったりとした時間を過ごせる片側オープンプランなど。「マルチユースベッセル」ボウルを採用。小物の仮置き・飾り棚に使えるデザインシェルフや扉と同色に揃えることもでき、まとまり感のあるスタイルを実現。



■パロマ、家事ラク・快適性を叶えるコンロ・給湯器シリーズ

・家事ラク・時短・快適を両立させた新ブランド「Paloma GRAND Series(パロマ グランドシリーズ)」を始動。「驚きと感動と、ワンランク上の心地よさ」がテーマ。厨房機器としてビルトインコンロ「クレア」「アバンセ」「フェイススグランド」「ウィズナ」をラインアップ。



■エディオン、ニトリと共同開発したLEDシーリングライト

・温かみのある木目調のデザインが特徴。リビングや寝室などに取り入れることで、リラックスできる空間を演出。付属のリモコンで、明るさ・光の色をそれぞれ11段階で調整できるほか、おやすみ前や集中したいときなど、シーンに合った調光・調色がワンボタンで可能。

